

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年1月21日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部・商学科・マーケティング専攻
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 現地言語: 英語
留学期間	2018年8月～2018年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年12月24日
明治大学卒業予定年	2020年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:      2学期:      3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約40000人
創立年	1949年

留学費用項目	現地通貨 (USD)	円	備考
授業料	\$0	0円	
宿舍費	\$7205	84万3千円	2人部屋と1週間に10食のミールプランを選択
食費	\$200	2万3500円	外食代
図書費	\$0	0円	
学用品費	\$160	1万8720円	教科書代
教養娯楽費	\$200	2万3500円	サーフィンのスーツと板
被服費	\$100	1万1700円	大学のパーカーやTシャツ
医療費	\$0	0円	
保険費	\$770	9万円	形態:明大サポート8か月分の保険(カリフォルニア大学サマーセッションにも参加したため)とロングビーチで入る保険
渡航旅費	\$1600	13万円	
雑費	\$100	1万1700円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>	<b>\$10,335</b>	<b>115万2120円</b>	奨学金を考慮しない場合

## 渡航関連

渡航経路: バンクーバーからロサンゼルス

渡航費用

チケットの種類    アメリカン航空

往路                    \$150

復路                    \_\_\_\_\_

合計                    \_\_\_\_\_

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Expedia

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

On-campus の寮

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 1 人)

3) 住居を探した方法:

CSULB housing のサイト

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

自分の寮は現地生が多く、授業の後一緒にジムやご飯を食べに行くような友達が沢山できた。寮内のイベントも定期的にあり学生交流は活発だった。部屋はダブルルームを選び現地生と同じ部屋。シャワーは 3 部屋共同で綺麗とは言えないが不自由さは感じなかった。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

現地について知っている友達。相談窓口あり。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

食堂にテレビがあるためニュースがやっているときは見るようにした。また友達は現地の事をよく知っていたので自然とそのような情報は入ってきた。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

Wi-fi がありインターネット接続に関して問題はない。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

母親に通帳だけ渡し、何かあったら日本からの振り込みができるようにしておいた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本のお菓子(お世話になった人、または最初の掴みとして日本のお土産をあげると好印象)、米、みそ汁などのご飯物(寮で白米を使った料理は出るが基本パサパサなので日本の米が好きな人は持っていきべき)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
業界地図
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
素材メーカー
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
11月にポストンでキャリアフォーラムがあるのでそれに参加することをお勧めします。留学先の勉強で忙しくなりますが3日以内定が出る場合もあります。情報収集はアメリカにいてもできますし、逆に危機感を持って対策できたので問題はなかったです。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
3 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Interantional Business	国際ビジネス論
科目設置学部・研究科	Colledge of Business Administration
履修期間	8月~12月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Pia Gupta
授業内容	現代ビジネスをグローバルな視点から捉える授業。まず、国際ビジネスに関して企業を取り巻く環境などについて専門用語を交えながら基礎から学び、実際に企業が直面した経営・マーケティング課題を例に取りながらグローバル戦略などについて考察する。授業は講義形式で、パワーポイントを中心に進む。

試験・課題など	課題に関しては毎週その週で学んだことを確認するテストがオンライン上である。また、中間・期末テストと並行して5人程で行うグループプロジェクトがあり、アメリカのどのような製品をどこに売り出すのかという新規開拓についての課題だった。これは word でまとめ提出する方式。試験に関しては、ほぼ毎週授業の終わりに前回までの授業の内容が範囲の小テストがあり、予習・復習は欠かせなかった。中間・期末もあり、すべて選択方式だが判断の難しい選択肢が多いのでしっかりと理解が求められた。	
感想を自由記入	この授業は 300 番台の授業だが、基礎にも触れながら進めてくれたので非常に分かりやすかった。また企業の実例などが多く、学んだ理論を実際のビジネスに応用できる点が多く、面白かった。授業内容は全般的に見て簡単とは言えないが、教授もとても親切でロングビーチで最も取ってよかった授業の一つです。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	Principles of Sociology	履修した授業科目名(日本語): 社会学
科目設置学部・研究科		
履修期間	8月～12月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Jake Alimahomed-Wilson	
授業内容	社会学とは何かということについてまず考え、基礎となる社会的な考え方をビジネスや政治など多方面に応用していく授業。その中でアメリカの歴史や公民権運動などについても細かいところまで触れ、それらの社会変革の運動からどのような規範やルールが生まれたのかなどについても勉強する。	
試験・課題など	課題については毎週その週の授業テーマに関連して word 二枚程のエッセイの課題があり、深いところまで考察しなければいけないので難しかった。また月曜日に教科書約25ページ分の内容を対象としたオンラインテストがありこの授業の課題のためかなり時間を割いた。また中間・期末テストや秋休みに沿って 5 枚ほどのエッセイが3つほどありこれらも内容的に難しいものだった。中間・期末はエッセイの試験で授業外提出するものでリーディングの内容を元に自らの考えを論理的に構築するものが多かった。	
感想を自由記入	この授業は基礎のクラスだと思い、臨んだがビジネスの 300 番台の授業より、リーディング量や課題が多く、正直かなり負担であった。しかしこの授業を取ったことで今まで自分が持っていなかった視点を持って社会で起こっている物事に対して考えられるようになったと感じることができ最終的にこの授業から学んだことは多かったと感じる。教授は留学生に対する理解もあり、非常に強力的だったのでその分頑張ろうと思うことが出来た。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	General Psychology	履修した授業科目名(日本語): 心理学
科目設置学部・研究科	Department of Psychology	
履修期間	8月～12月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Yada Treesukosol	
授業内容	心理学の基礎を学ぶ授業。まず知覚心理学や認知心理学について学び、その後記憶の定着や動機付けなど学習心理学などにも触れた。そこから人間がどのようにストレスを感じたり自分自身の行動についての意思決定を行うかなどを勉強し人格心理学、臨床心理学など幅広いテーマで授業が進められた。	

試験・課題など	課題についてはその日の授業についての理解を深めるために 5 問のオンラインクイズとビデオクリップを見る課題があった。この授業も試験の時期にエッセイがあり学んだ内容の中で特に重要な概念について実例を交えて説明するというものだった。試験については大きなテストが 5 つあり、期末は全範囲が対象であった。形式は 40 問の選択式で予習・復習をきちんとしていれば問題はなかった。
感想を自由記入	自分の専攻とは違う心理学という分野だったが非常に興味深い内容で取ってよかった。この授業の教授は本当に優しい方で何度もオフィスアワーに行き課題について相談したり、他愛のない会話もするほど接しやすい方だった。心理学の授業を取るならこの先生をお勧めします。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intermediate Korean	中級韓国語
科目設置学部・研究科	
履修期間	8 月~12 月
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 2 回
担当教授	Park Jihyeon
授業内容	韓国語中級レベルの内容を教科書に沿って進める。文法の勉強だけでなくペアワークでスピーキングの練習をしたり、プレゼンテーションがある。
試験・課題など	課題については毎週教科書付随のテキストに書き込む形の課題がある。またプレゼンテーションが二回あり韓国語・英語を使って行うものだった。テストに関しては毎週単語テストがあり教科書に載っている単語や表現をカバーできていれば大丈夫だった。中間・期末は筆記テストとオーラルテストに分かれ、オーラルの方はペアで決まったテーマに対し文を作りそれを暗記するというものだった。筆記テストは事前にスタディーガイドなどが配られるのでそれに沿って勉強すれば問題ない。
感想を自由記入	中級の授業だが基礎の復習の内容にも触れてくれるので確認しながら新しい文法などを学ぶことが出来た。クラスは 13 人ほどの少人数だったこともあり他の授業と比べて仲が良かった。教授も優しい方で生徒の意見なども考慮して課題の量を決めたりと生徒思いの先生だった。



### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	漠然と留学したいと思い始める
2018年 1月～3月	学部間協定留学で韓国に一月留学。ここで交換留学に行くことを決める。
4月～7月	IELTS の勉強を初める、受験
8月～9月	カリフォルニア大学サマーセッションプログラムのことを初めて知る。 IELTS 受験
10月～12月	10月 TOEIC/IELTS 受験 11月 IELTS 受験/学部間協定留学（交換型）とサマーセッションのための留学計画書を提出 12月交換型の学内選考（二次選考で面接）/結果通知
2019年 1月～3月	履修登録や寮の申請を始める（両方の大学について）
4月～7月	5月 F1/J1 VISA 申請 Session A 5/21～6/28（中間・期末試験あり）
8月～9月	Session D 7/3～8/9（中間・期末あり） Berkeley は F1、次の留学先は J1、と VISA の種類が違うため（アメリカを一度出る必要がある）カナダで一週間過ごしながらか準備を進める Fall semester 8/18～12/19(California State University, Long Beach)
10月～12月	12月24日 日本帰国

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	明治大学に入学してから大学生活で何か胸を張ってやり遂げたいと言える努力がしたくて留学について調べ始めました。また、大学一年時に韓国へ学部間留学をして留学でこんなにも物事に対する考え方が変わるのだと実感したことがアメリカ留学を目指した大きな要因です。専攻に関わる部分では、自分はビジネスを勉強しているのでアメリカの大学の方がより深く実践的な知識やスキルを得ることが出来ると判断したため留学を決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学の権利を得るためにする英語の勉強では正直全く歯が立たないということをアメリカに来て痛感します。留学前に英語を勉強すればするほど留学そのものが充実してくると感じました。また、大学周辺にはどのようなスポットやイベントがあり、どのように公共交通機関を使うのかなど生活面の事も事前に調べ、具体的に決めておくことが限られた留学期間を楽しむために必要なことだと思います。
この留学先を選んだ理由	私はビジネスを明治大学にいたときよりもっと深く実践的な知識やスキルを勉強したかったのでビジネスの授業に定評のあるロングビーチで学ぶことができるという点が一番の決め手です。また、この大学は多様性を重視し、世界中から留学生が集まるのでここで自らの国際的な見識を広めることができるという点も大きな理由の一つです。
大学・学生の雰囲気	ロングビーチ校の学生は勉強と息抜きのメリハリがはっきりしている印象がありました。勉強に関しては自分の専攻に対して積極的に知識を身に付けようとしていて、図書館では多くの生徒がグループプロジェクトに取り組んでいたりと、勉強時間も多いうように感じられた。また、部活動やクラブ活動も活発で友達とバスケットボールの試合を見に行ったりしました。留学生も多く、教授・生徒たちはとても親切なのでマイノリティに感じることは一度もありませんでした。
寮の雰囲気	自分が決めた寮は Hillside College という寮でみんなで飾り付けをしたり、ハロウィンなどの時は寮の中庭を使ってカボチャの切り抜きなどをしました。学生たちが交流を深められるイベントは沢山あり友だちも作りやすいと思います。
交友関係	まず寮内の友達がとても親切で一緒にジムやご飯を食べに誘ってくれたので孤独感なども感じることはなかったです。また自分が取ったそれぞれの授業で仲のいい友達を何人か作り、課題があるときなどは一緒に勉強していました。何かわからない時は直接聞けますし、勉強のモチベーションにもなりました。
困ったこと、大変だったこと	当然のことですが環境も、勉強の量も日本とは全然違いますし、まず自分のペースを見極めるのが大変でした。リーディングなども膨大ですが要領のいいやり方というのが必ずあるはずなので現地生に相談してみたり、自分で試行錯誤することで段々自分の生活リズムもつかめると思います。また他の留学生は遊びに行っているのに自分は勉強で息抜きができないという状況が多かったですが、時間がない中でも自分なりのリラックス方法だったり気持ちの上げ方なども掴めて来るとだいぶ楽になりました。
学習内容・勉強について	私はビジネス専攻なのでビジネスを中心に勉強を進め、新しい知識を身に付けようと日々勉強していました。またビジネスを勉強する上で様々な学問からの視点が必要になると思ったので社会学・心理学の授業を取り、アメリカや欧米からの視点からビジネスを捉えられるようにしました。それぞれの授業の課題はどれも多かったですが、どれも自分の興味のある分野だったのでやりきることが出来ました。

課題・試験について	課題についてはどの授業も授業前にリーディングやビデオクリップのどの課題があり、それに加えて定期的なエッセイの課題や中テストなどがありました。またプレゼンテーションやチームプロジェクトがある授業もあるのでそれらに重なったときはかなり忙しくなります。試験についてはどれも中間・期末テストがあり、成績に直接関わってくることで日々の勉強に加え、テスト前の追い込みが必要でした。ですが、日々の授業で一つ一つポイントを理解していれば乗り越えられない程ではないので計画的にやっていくことが大切だと思います。
大学外の活動について	自分の勉強以外には、留学先大学で現地学生が取る日本語の授業で TA をやっていました。自分のスケジュールもあるので忙しくはなりますが、日本語や日本文化を自分が発信することで今まで知らなかった日本や海外からの視点を持つことができました。また、交友関係も広まり、最後にはみんなでご飯を食べに行ったり、大切な友達もできました。
留学を志す人へ	私が留学を意識し始めたときは明治大学の留学制度についてよく知らず、実際にカリフォルニア大学のサマーセッションとこの交換留学を組み合わせることができる事も全く知りませんでした。私の場合、英語のスコアも足りず、留学は入学した時点で明確に意識や対策のできている人だけにチャンスがあるものだと思っていました。しかし、何度も事務室や留学関係のイベントに顔を出して情報を収集し、勉強もコツコツやることで自分の留学を実現しました。なので絶対に諦めないでください。一つ一つやるべきことを乗り越えれば段々と留学への道は見えてきます。また、このような留学のケースは前例がないと思うので、僕が協力できることがあれば事務室から連絡ください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	Principles of Sociology	日本語 TA	Principles of Sociology	日本語 TA	Surfing	起床	起床
	General Psychology	International Business	General Psychology	International Business	課題	課題	課題
午後	昼寝	日本語 TA	昼寝	日本語 TA	昼寝	ジム	ジム
	ジム	図書館	ジム	図書館	課題	昼寝	昼寝
夕刻	復習	Intermediate Korean	復習	Intermediate Korean	課題	課題	予習
夜	予習	予習	予習	就寝	課題	課題	就寝